



エアーカーリーご使用上のご注意

M0065-1_{web}
for AC VALVE

弊社 空気緩衝材エアーカーリーをご利用いただき誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ず下記をお読みくださいますようお願い申し上げます。

一般的な注意事項



本製品を、引きずったり投げたりしないでください。
緩衝材以外の用途でご使用しないでください。
(フィルム破損の原因になります)



本製品はプラスチックフィルム製です。
鋭利な物に触れないようにご注意ください。
(突起物があるものをそのまま梱包すると
フィルムが破損します。)



火気に近づけないでください。
(フィルムへの引火やフィルムの変形、
性能劣化の原因になります)



当該製品への適正注入圧力を
ご使用前に必ず確認してください。
(エアの入れ過ぎは、破損の原因になります)

エア注入時の注意事項

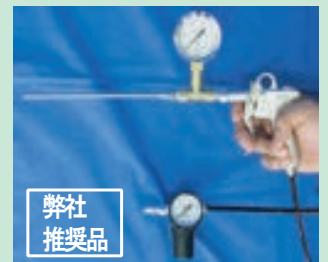


内圧設定ができる弊社推奨の
ノズル付きエアガンと注入機器をご使用ください。

※市販のエアガンは、差し込む際に逆止弁を破損させる
恐れがありますので、専用エアガンをご使用されることを
お奨めいたします。



弊社
推奨品
設定内圧 自動停止 空気注入機
品名/エア圧コントローラー

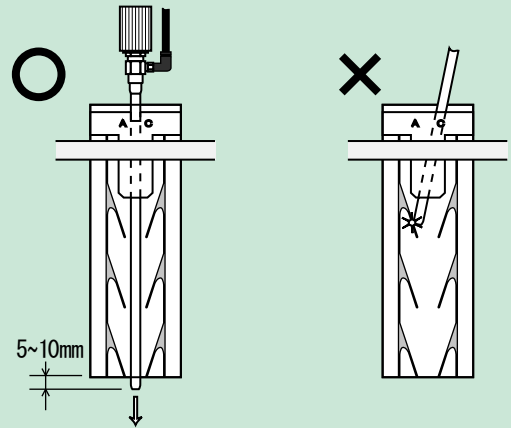



弊社
推奨品
設定内圧 自動停止 空気注入機
品名/簡易型エア圧コントローラー


①逆止弁に差し込む際は、真っ直ぐ差し込んでください。
(ナメに差し込むと、逆止弁のシール部分を突き破る恐れがあります)

⚠ 空気の入れ過ぎに注意 (空気の入れ過ぎは、破損の原因になります)
当該製品への適正注入圧力を、ご使用前に必ず確認してください。

ノズルの先端が、逆止弁の端面から
5~10ミリ程度出る位置まで差し込ん
でください。(ノズル先端が出ないと、圧力センサーが作動しません)

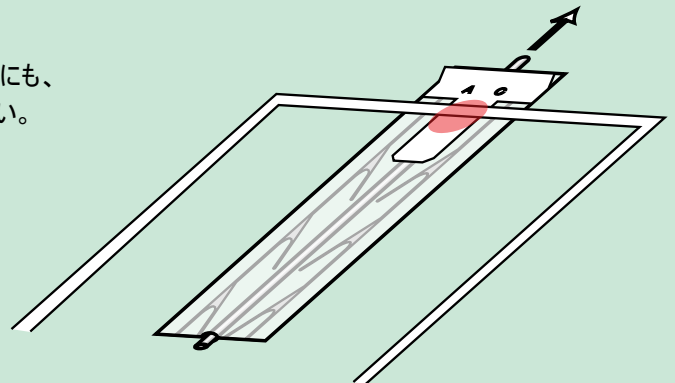


②エアの注入が終わったら、下図の位置  を指で軽く
抑えながらノズルを真っ直ぐ引き抜いてください。
・(無理に引き抜くと、弁のフィルムがノズルに引きずられて
破損する恐れがあります。)

ノズルを引き抜いた際に弁の口が開いている場合にも、
・上図の位置  を手で押さえて閉じてください。

⚠ ※ノズルなどの再度 差し込み禁止

使いきり(ワンウェイ)使用 専用弁の為、
一度、空気を入れたエアーカーリーに、再び逆止弁へ
ノズルや、ストローなどを差し込まないで下さい。
(市販のエアガンは、逆止弁を破損させる恐れがあります)
再使用(リユース)専用弁は、別紙【キャップの使用方法】をご覧下さい。



<お問合せ先>





キャップのご使用方法

M0065-2_{web}

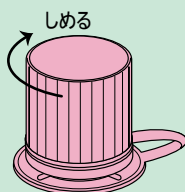
for W CAP

弊社 空気緩衝材エアークャリーをご利用いただき誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ず下記をお読みくださいますようお願い申し上げます。

A. エアガンや手動ポンプを使用する場合・・・

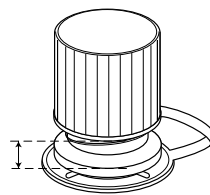
①赤キャップを奥までしっかりと閉めます。

- ⚠️ キャップの閉め方が悪いと、エア漏れの原因となります。

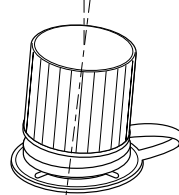


【悪い例】

×



×



奥まで閉めていない

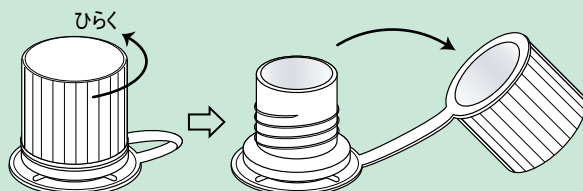
ナナメに閉めている

②白キャップを外し、コンプレッサーまたは手動ポンプでエアを入れます。

- ⚠️ 吸気口にノズルを差し込む際は、真っ直ぐ差し込んでください。ナナメに差し込むと、内部の逆止弁のシール部分を突き破る恐れがあります。

- ⚠️ コンプレッサーをエア源とする場合は、レギュレーターを使用して、エアの吐出圧を必ず0.4MPa(約4kgf/cm²)以下に調節してください。

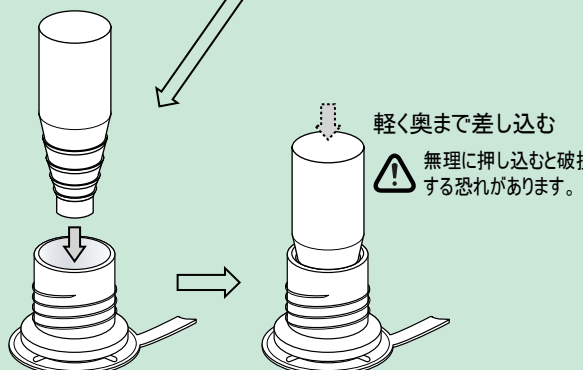
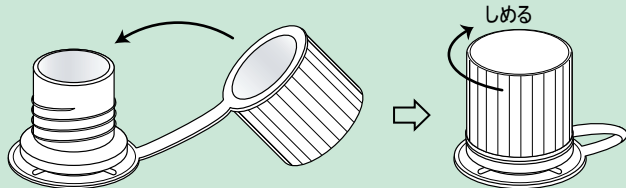
吐出圧が強すぎると、内部の逆止弁や本体のフィルムに穴があく恐れがあります。



③エアの注入が終わったら、ノズルを引き抜きます。

④白キャップを奥までしっかりと閉めます。

- ⚠️ キャップの閉め方が悪いと、エア漏れの原因となります。



※エアガンは市販のものだと、差し込む際に逆止弁を破損させる恐れがありますので、専用エアガンをご使用されることをお勧めいたします。

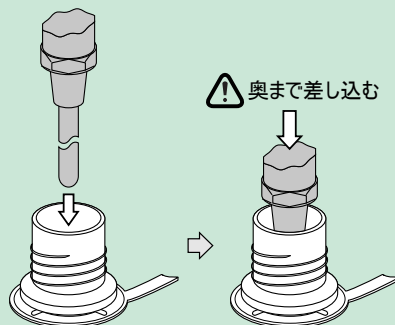
B. 専用圧力調整器を使用する場合・・・

①エアガンや注入ノズルの先端を右図の位置まで差し込んでください。

- 逆止弁の途中までしか差し込まれていない状態でエアを注入しても
- 圧力センサが正常に作動しません。

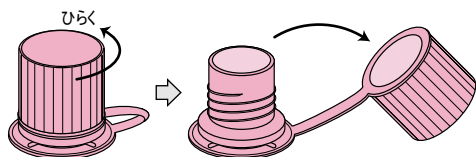
②その他、上記「A. エアガンや手動ポンプを使用する場合・・・」の注意

- 事項を守ってご使用ください。



エアを抜く場合は・・・

①赤キャップを開放するとエアが抜けます。



その他の注意

給排気ノズルの開口部端面にキズが付くとキャップをしっかりと閉めてもエア漏れが発生する恐れがあります。
キャップをあけたまま引きずったり、エア注入でノズルを差し込む際に傷付けたりしないよう取扱いには十分ご注意ください。